

MEMO

きゅーはくに来てくれたみなさんへ

貴重な文化財や、ほかのお客さんの楽しい時間のために、
次のことを守って楽しんでくださいね。

守ってほしいことを
動画にしました！
見てみてね！



飲食は
決められた場所で



展示品には
さわらない



携帯電話は
マナーモード！



さつえい
撮影はNGの
ところがあるよ！



ヒソヒソ
話し声は
ひかえめに！



メモをとるときは
えんぴつ
鉛筆で

文化交流展示室は年間300回の展示替えがあるので、来るたびに新しい発見がありますよ。

九州国立博物館

福岡県太宰府市石坂 4-7-2 (太宰府天満宮横)
050-5542-8600 (NTTハローダイヤル 9:00~20:00/年中無休)

【開館時間】

9:30~17:00(入館は 16:30 まで)

※金曜日・土曜日に実施していた夜間開館は
中止しています。(令和3年4月1日現在)。
再開時は九博ホームページでお知らせします。

【休館日】

月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)・年末

【観覧料(文化交流展)】

大人 700 円、大学生 350 円

※障害者手帳等または障害者手帳アプリ「ミライロID」ご持参の方および
その介護者1名、高校生以下、18歳未満、70歳以上、キャンパスメンバーズ
会員は無料です。展示室入口で証明書をご提示ください。

詳しくは九博ホームページへ！ <https://www.kyuhaku.jp/>

まるわがり

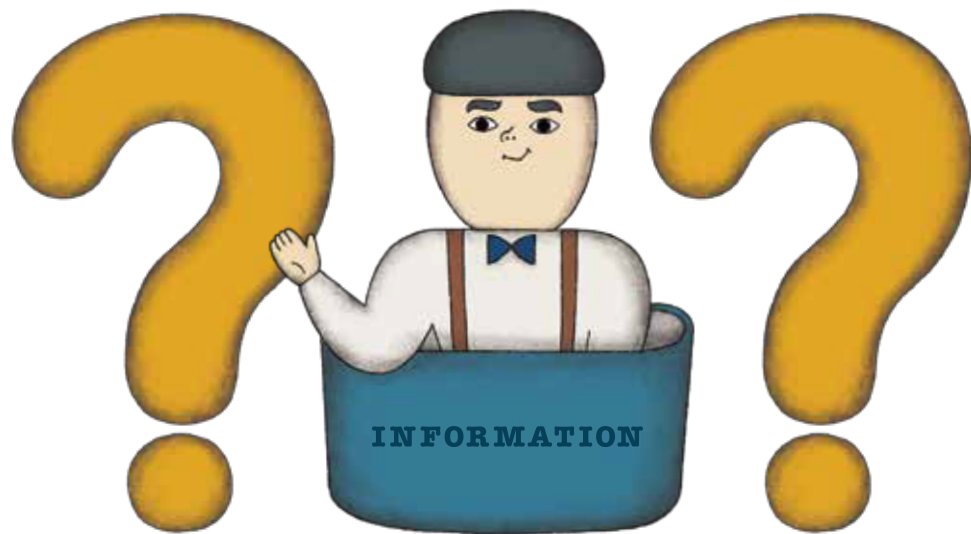


九州国立博物館

きゅーはく

\ Welcome to Kyushu National Museum! /

きゅーはく 九州国立博物館へ ようこそ!



Q1

きゅーはく ってどんなところ?

日本とアジア・ヨーロッパの文化交流の歴史がわかる「もの」を展示しています。「もの」を通じて、日本が今までどんな国々と関わりをもってきたのか・人々のくらしがどのように変わってきたのかということを、みなさんに知ってほしいからです。きゅーはくではそのほかにも、「もの」を集めたり、大切に保管したり、修理したりもしています。

きゅーはくは、「もの」を通じて過去へのタイムスリップができる場所であると同時に、「もの」を守り伝える未来へのタイムカプセルでもあるのです。

Q2

もの ってなに?

きゅーはくが展示している「もの」は、文化財です。

文化財 [今に残されているもののうち、特に価値があると認められたもの]

文化財がもつ価値は、形や装飾の美しさ、めずらしさなど、「もの」そのものの魅力だけではなく、見つかった場所・作られた理由・作られた時期・機能性といった「もの」がもつたくさんの情報の中には、私たち人間が歩んできた歴史を明らかにするためのヒントがたくさんつまっています。「どんな情報を持っているか」ということも、文化財の価値をはかるものさしなのです。

Kyuhaku's secret

きゅーはくの ひみつ



知ると10倍楽しくなる
きゅーはくのひみつ
教えちゃいます!

01

消火器は
赤じゃない!?

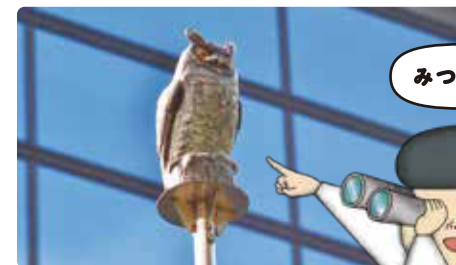
赤い消火器に入っている薬剤は、文化財に悪影響をあたえます。そこで、展示室の中では水が入っている銀色の消火器を置いています。探してみてくださいね!



02

フクロウを探せ!

きゅーはくの建物の周りに2羽のフクロウがいるって知っていました? きゅーはくの壁のガラスに森が映りこんでいるので、野鳥が森と間違えて壁にぶつかってしまうのです。そこで鳥の天敵であるフクロウ(ニセモノ)を置くことで、鳥が壁にぶつかるのを防いでいます。



03

展示ケースの中の白や茶色の
小さな箱はなんだろう?

展示ケースの中をよーく見ると、箱が置いてあることがあります。実はこの箱の中には温度と湿度を測る機械が隠れています。文化財にはそれぞれ最適な温度や湿度があるため、この機械で変化がないかを常に記録しているのです。

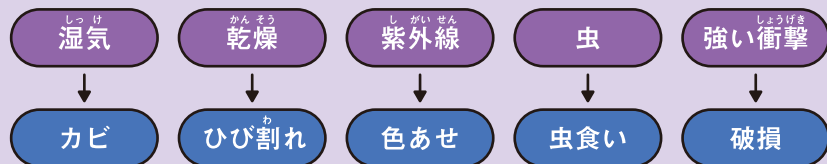


建物の工夫

きゅーはくは、大切な文化財をさまざまなことから守るために、建物にもたくさんの工夫がされています。その工夫とは？

文化財を何から守るの？

文化財を傷める原因には、次のようなものがあります。

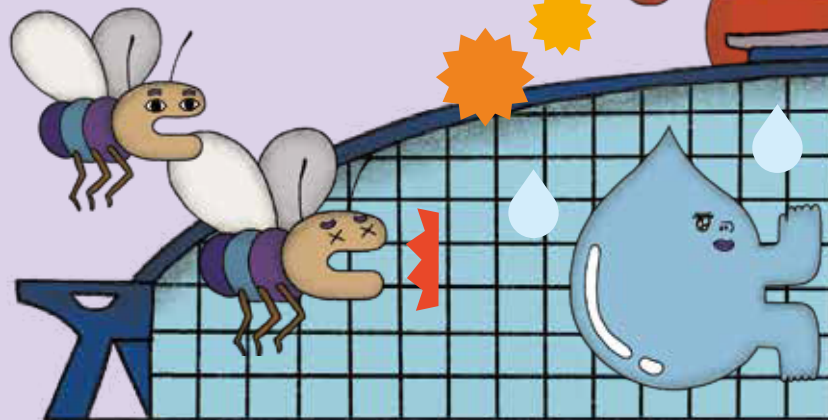
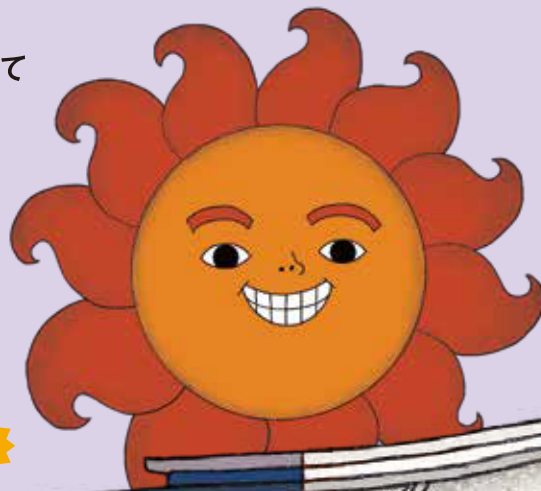


きゅーはくはいろいろな素材の文化財を保管しています。文化財を保管する場所は、それぞれの文化財にとって一番ふさわしい状態に保たないといけません。また、火災や地震などの災害や、盗難に備えることも大切です。

そとの工夫 …自然との調和をめざして

紫外線・結露・虫を防ぐ!…ガラスの外壁

せっかくの自然の風景を壊さないように、壁の外側に2000枚ものダブルスキンガラスを使って、建物を自然の中にとけこませました。このガラスには特別な加工がされていて、文化財にとって害になる原因をできるかぎりシャットアウトできるようになっています。



なかの工夫 …いまの技術とむかしの知恵をいといこどり！

2F

木ってすごい!…収蔵庫

文化財を保管する収蔵庫は、壁・床・天井・棚のほとんどが木で作られています。木は空気中の湿度を調節したり、文化財をすべり落ちにくくする、天然の力を持っているからです。このような木の特性は、なんと奈良時代から活かされているのです！



収蔵庫の中は、木の良い香りがするんです

地下1-2F・5F・6F・外

空気もキレイに…さまざまな空調設備

文化財に悪影響を及ぼす物質は、空気の中にも存在しています。これらをできるかぎり取り除くために、外の空気を洗う設備や、吸着フィルターなどが備え付けられています。



建物の外にある空気を取り込む設備

1Fと2Fの間

地震の揺れを軽くするしくみ…免震層

地震の揺れによって建物や文化財が壊れないように備え付けられた設備。この装置で揺れをおだやかにすることで2階以上の階に揺れが直に伝わるのを防ぎます。



こんな装置を組み合わせて、地震に備えています

注意

次のページは、文化財に害をおよぼす虫についてのページです。少しショッキングな写真があるので、気を付けてめくってね！



博物館と虫のはなし

文化財害虫って、こんな虫。

ビク
ビク



右の写真は、大切な古文書ですが…ボロボロで、展示をすることができません。実はこれは、虫に食べられた跡なのです。食べたり、住み家にするために穴をあけたりして、文化財に害を与える虫のことを、文化財害虫といいます。そのなかには、家で見かける虫もあります。

たとえば…



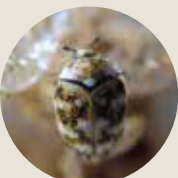
成虫

シバンムシ

パスタやそうめんなどの乾燥食品が好き。木造の仏像や建物の柱！を食べる種類もいる。



幼虫



成虫

ヒメマルカツオブシムシ

成虫は、三毛猫みたいな模様で文化財を食べない。しかし、幼虫はウールなどのたんぱく質が好物。セーターも食べますよ。

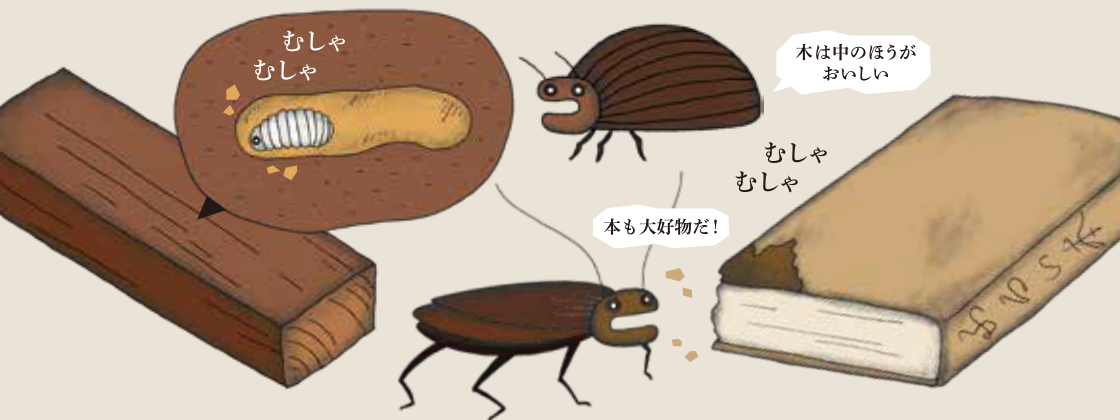


幼虫



ゴキブリ

でんぶんのりが大好きで、のりづけされている古い本などをムシヤムシヤ食べる。



きゅーはくの虫(ゼロ)作戦

文化財害虫は1匹見逃すと、いつの間にか大量に増えて、気がついたら文化財が食べられていた…なんてことになりかねません。大切なのは、虫を持ち込まない、見逃さない、増やさないことです。そのために、きゅーはくでは様々な対策をしています。

1 トラップを仕掛ける

虫を捕まえるためのトラップ(罠)を館内に400個以上仕掛け、1か月に1回新しいものと交換するときに、虫がいるかどうかを調査しています。これによって、大量発生する前に文化財害虫を見つけることができます。



展示室、エントランスにもあります

2 虫の捕獲&記録

きゅーはくで働く職員は、館内で虫を見つけたらすぐ捕まえて、日付や時間、場所を記録します。その後、捕まえた虫が文化財害虫かどうかを調べます。



虫を捕まえるための、ほうきやちりとり

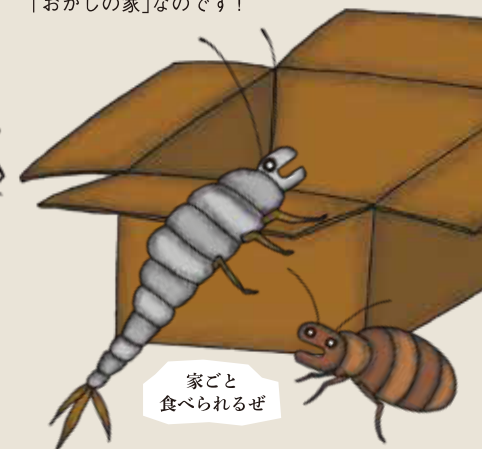
3 ゴミ箱を置かない

展示室やエントランスにはゴミ箱がありません。食べ物の残りや、水の匂いで、ゴキブリなどの文化財害虫を引き寄せないようにしているためです。



4 ダンボールはすぐ捨てる

文化財害虫にとって、ダンボールは食べ物で家でもある「おかしな家」なのです！



教科書の スターたちを みにいこう！

3万5千年前〜紀元前4世紀

1 縄文人、海へ

縄文土器

縄文時代に作られた土器は、縄でつけられたようにちなで、縄文土器と呼ばれています。その中には、縄のようがなく、こったデザインのものもあります。きゅーはくには、いろいろな大きさや形をした縄文土器がありますよ。



かえんがたどき
火焰型土器

土偶

人間が動物や植物を狩猟・採集していた縄文時代、自然のゆたかなめぐみを祈って作られた、土でできた人形。土偶は全国各地で見つっていますが、東日本と西日本で形の特徴が違います。きゅーはくにはいろいろな土偶を見比べてみてね！



くっせつぞう
屈折像土偶



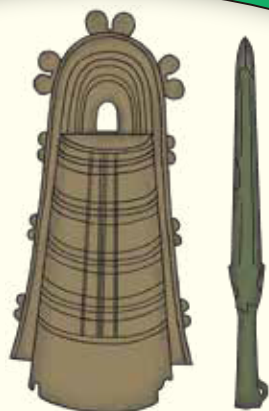
ちゅうくう
中空土偶

2 稲づくりから国づくり

青銅器

稲作が始まった弥生時代、朝鮮半島から伝わったさまざまな道具の中に、鉄器や青銅器といった金属の道具が含まれていました。それまで石でものを切っていた弥生人は、金属の切れ味にびっくり！おまけにキラキラ光る美しさにも魅せられて、祈りの道具としても使われました。青銅器は銅や錫などを合わせた金属で、銅鐸や銅剣、鏡などが作られました。

ホンモノだー！



どうたく
銅鐸

ちゅうびろがたどうほこ
中広形銅矛

きゅーはくの文化交流展示室では、旧石器時代から、およそ150年前の江戸時代までの文化財を見ることができます。その中には、教科書にでてくるものもたくさんあるんです！

※時期によって、見られないものもあります。

7世紀〜12世紀

3 遣唐使の時代

遣唐使船に 乗り込もう！

奈良時代、唐（今の中国）は東アジアでもっとも国際化が進んでいて、アジア各地からたくさんのものが集まりました。日本にも、唐に送った遣唐使により、さまざまなものや進んだ文化、政治制度がもたらされました。いったいどんなものが日本にやってきたのか、遣唐使が乗った船に見立てた展示室で見てみよう！



「遣唐使が運んだもの」コーナー

12世紀〜16世紀

4 アジアの海は日々これ交易

てつはう

蒙古襲来（元寇）で元軍が使った火薬兵器。火薬と一緒に鉄やきものかけらが詰められていたことが分かっています。爆発で中身が飛び散り、高い攻撃力を発揮したようです。

長崎島の鷹島沖で、沈没した元軍の船と多くの積み荷が見つっています。その船は、700年たったいまも鷹島沖の海底に沈んでいます…。きゅーはくでは、元軍の船の大きさを体感できる鉄砲も見ることができますよ。



モンゴル軍船の碇



てつはう

16世紀〜19世紀

5 丸くなった地球 近づく西洋

火縄銃

火縄銃は、ヨーロッパから日本に伝わった最初の銃です。1540年代に伝来してから、あっという間に全国で生産されるようになり、およそ300年もの間、作られました。きゅーはくで見ることでできる最も古い火縄銃は、1600年代前半に作られたもの。現代でも、火縄銃に使われた鉄を加工する技術が、刃物や自転車などで受け継がれています。



火縄銃



体験型展示室



無料だよ



「あじっば」は、さわったり、遊んだり、作ったりしながら、日本と交流があった国々の文化を体験できる展示室です。

※時期によって、体験できないものもあります。

遊ぶ

あじっばには、いろんな国のゲームやおもちゃがあります。おすすめは、インドネシアのゲーム「ダコン」。チャレンジしてみよう！



鳴らす

いろんな国の楽器にふれることができます。竹の楽器・アングルンをみんなで演奏したり、青銅の楽器を鳴らしてみよう！



作る

BOXキットコーナーでは、いろんな国の遊びや文化を工作で体験できます。好きなBOXを選んでやってみよう！



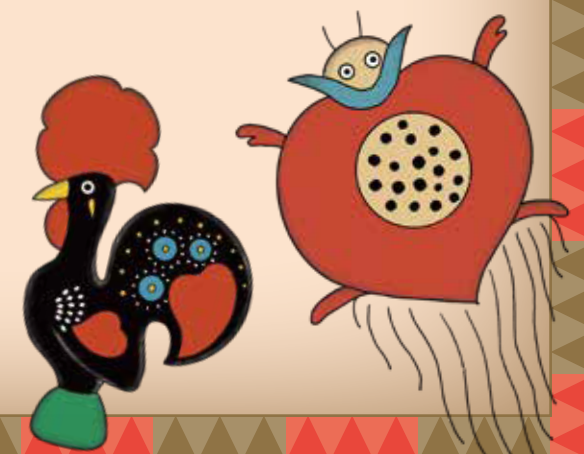
見る・さわる

にぎやかなマーケットのような屋台。いろんな国の生活用品をはじめ、おもちゃや楽器、衣装などが展示してあり、実際にふれて見るすることができます。



着る

南蛮衣装をはじめ、いろんな国の衣装を着る体験ができます。はなやかな衣装やかっこいい衣装の中からお気に入りを着てみよう！



あなたは

文化交流展示室へ行こう! どの時代に向いている? 診断

START!

今の気分は?

YES — NO —

おいしいものを食べたい

どんぐりを集めたことがある

ゴロゴロしたい

好きな Youtuber がいる

どこかへ行きたい

カステラが大好きだ!

金メダリストよりも
発明家になりたい

無人島で、一人でも
生きていく自信がある

外国で住むことに
あこがれる

頭がかたいと
言われる

植物を育てる
のが苦手

どちらかといえば
リーダータイプだ

住むならどっち?

大きな庭つきの家 ▶ **B**
大都市のマンション ▶ **D**

好きなのはどっち?

大切な人のために戦う、カッコいい話 ▶ **C**
ラストで大どんでん返しがおこる話 ▶ **F**

なりたいのは?

誰でもたませる変装^{へんそう}の名人 ▶ **E**
どこでもへっちゃら! サバイバルの達人 ▶ **A**

日本の未来よりも明日の自分のご飯を考える

はい ▶ **A** いいえ ▶ **E**

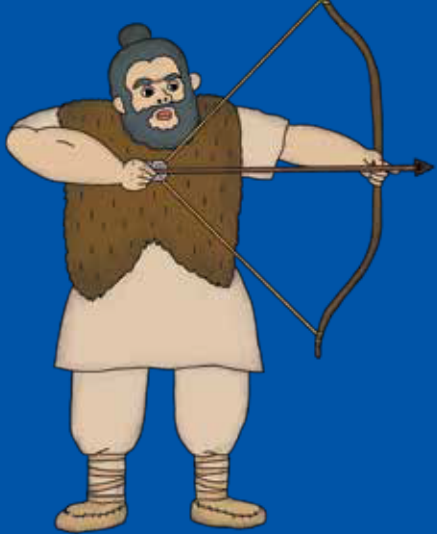
夢のためならすべてをかけられる?

はい ▶ **F** いいえ ▶ **B**

最新のものがすぐ欲しくなる?

はい ▶ **D** いいえ ▶ **C**





A 適応能力は抜群! 縄文時代のハンタータイプ

勘が良く、どこでも暮らしていけるあなたは、縄文時代のハンターにぴったり。縄文時代は地球温暖化によって、自然環境がとてもしな化した時代です。やりで狩っていたナウマンゾウなどの大型動物も絶滅してしまつたため、人々は標的を小型のイノシシやシカに変えました。しかし、やりで狩るには動きが速すぎたので、弓矢という新しい道具を作りました。矢の先によく使われたのは石器です。ガラスのような石、鋭い黒曜石でできた石器がたくさん出土しています。

1テーマ 縄文人、海へ を見てみよう!

B 手先が器用なはたらきもの! 弥生時代の農家タイプ

植物のお世話やものづくりが好きなあなた。今から 2000 年以上前、日本に米作り技術が伝わった弥生時代で大活躍しよう! 弥生時代には、中国や朝鮮半島からうつり住んだ人たちが、色々な使いみちの農具の作り方や使い方、田んぼを使ったお米の育て方などを教えてくれました。これらが最初に伝わったのは北部九州で、福岡市の板付遺跡からは、稲作が伝わったばかりのころの水田のあとが見つかっています。

2テーマ 稲づくりから国づくり

「農耕社会の出現」のコーナーを見てみよう!

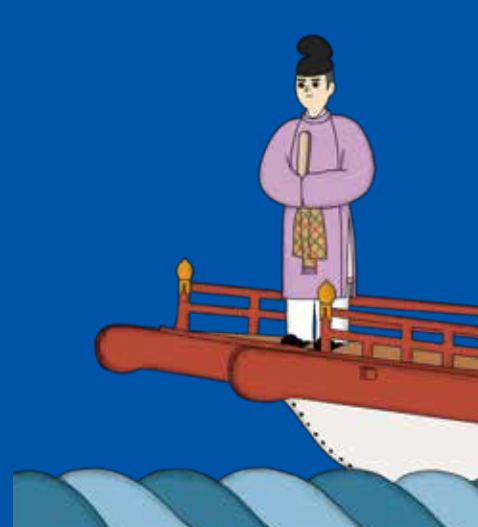


C スキのないディフェンス! 古墳を守る石人タイプ

責任感が強く、ひとの言うことにふりまわされないあなたは、有力者のお墓(古墳)をしっかり守る古墳時代の石人みたい! 古墳時代、古墳に土で作られた埴輪を飾る風習が、近畿地方を中心に広まりました。その一方で、九州ではやわらかい石がたくさん採れたので、埴輪のように人や馬を石で作って古墳のまわりにおきました。このように石製のもので古墳を装飾するのは、九州ならではの文化です。石を使うと、土では作ることのできない 2 ~ 3m もの巨大なものを作ることができました。

2テーマ 稲づくりから国づくり

「埴輪・石製表飾・装飾壁画」のコーナーを見てみよう!



D 流行に敏感! 奈良時代の遣唐使タイプ

あなたは時代をリードする文化人! 奈良時代だったら遣唐使に任命されていたでしょう。遣唐使は、当時、世界最先端の文化が集まる唐の首都・長安へ派遣された人々。唐をはじめとする世界各国のめずらしい品々を持ち帰ったほか、先進的な政治の仕組み、仏教などを学んで日本に帰ってきました。ただし、船の旅は危険の連続。すべての人が無事に日本へ帰国できたわけではないのです。そんな危険をおかしてまでも新しい文化を日本に持ち帰ったのが遣唐使です。

3テーマ 遣唐使の時代

「遣唐使が運んだもの」のコーナーを見てみよう!

E 大胆な頭脳派! 対馬のお殿様タイプ

想像力が豊かで野心家のあなたは、室町~江戸時代に、外交力を発揮した対馬のお殿様タイプです。対馬は、九州と朝鮮半島のほぼ中間にうかぶ島。お米が作れない土地だったので、交易が何よりも重要でした。朝鮮王朝からも、日本との仲介役として、とても信用されていました。ところが、なんと対馬は、交易を許可された人のみが使えるハンコの偽物を使って、たくさん交易をする権利を得ていたのです。良くないことのように見えますが、それによって島の利益や国同士の交流を保ち、守りぬきました。

4テーマ アジアの海は日々これ交易

「対馬宗家の図書と木印」のコーナーを見てみよう!



F 言葉の壁もなんのその! 大航海時代の宣教師タイプ

固い決意で目標につき進む努力家のあなたは、大航海時代に生きていたら歴史に名を残す人になっていたかも!? 1549 年、フランシスコ・ザビエルが日本に初めてキリスト教を伝えました。言葉や文化の違いに戸惑いつつも、ザビエルら宣教師による熱心な布教活動のかいあって、信者はしだいに増えていきました。しかし江戸時代の初め、キリスト教が禁止されたため信者は迫害され、宣教師は日本から追放されてしまいます。それでもキリスト教は信者の心の中に息づき、明治時代になってようやく認められるようになりました。お祈りの道具や禁教のために使われた踏絵などは、日本のキリスト教がたどった歴史の証として今でも残されています。

5テーマ 丸くなった地球、近づく西洋

「キリスト教の伝来と禁教」のコーナーを見てみよう!

